

第7回:「北京マスコット Friendlies」



5年連続で二桁成長を続け、世界経済のターボエンジンとして大車輪の活躍をしてきた中国に少し疲れが出たのか、今年に入り社会に変調の兆しがみえる。長江南部を襲った大雪害と水害、チベット問題、山東省の列車事故、聖火リレー騒動、四川大地震等のアクシデントが続き、そのせいでもないだろうが株価も冴えない。ただ、マーケットに限っていえば過大な心配は不要であろう。長い目でみれば中国の証券市場はまだ育ち盛りの成長期に位置しており、中国当局が政策さえ誤らなければ時間が回復の良薬となろう。

しかし最近の中国を襲った一連の事件は、社会インフラの脆さや地域格差等、これまでの高度成長至上主義の歪みが根底にあり、放置しておけば時が解決してくれる問題ではない。胡錦濤政権が掲げる「和諧社会＝調和のとれた社会作り」の本質にからむ問題であり、誠実かつ慎重な対応が必要である。

大雪事件発生(1月25日)、チベット事件(3月14日)、四川大地震(5月12日)、それぞれの日付を合計すると「8」となり、今年に限ってはラッキーナンバーの「8」が中国では通用しないという説まで、まことしやかに語られている。

この一連の連鎖を断ち切るためにも、約1ヶ月後の8月8日午後8時に開催される北京五輪を機に、これまでの雰囲気を一変させてもらいたいものである。その意味で、中国ナショナルチームの選手たち、

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

特に大本命の美人アスリート郭晶晶(飛び込み)や劉翔(110メートルハードル)たちへのプレッシャーは相当なものがあるだろう。勝てば英雄、負ければ非国民の世界である。

さて上に掲げた五輪カラーの人形は北京オリンピックのマスコットである。左より魚をモチーフにした貝貝(beiBei)、パンダの晶晶(jingjing)、聖火の歡歡(huanhuan)、チベットカモシカの迎迎(yingying)、そしてツバメの妮妮(nini)と続き、これを中国語で発音すると「北京歡迎你=北京は皆様を歓迎します」となるわけである。

このマスコットは「福を運ぶ可愛い子供」という意味から「福娃=FUWA」と名づけられた。しかし、FUWA(フワー)では欧米人には理解できないと言うことで、英語名称として「Friendlies」と呼ばれていた時期もあった。中国はこれをフレンドリーズと発音して欲しかったようだが、欧米人はこれをフレンド・ライズ=「友人が嘘をつく」と理解した。中国の本質に迫る鋭いネーミングであり、これでよかったとも思うのだが、中国政府はどうも世間体が悪いと判断したようで、いつのまにかこのネーミングが消えてしまったのは残念である。

さて中国は「世界の奇跡」とよばれた日本の高度成長をなぞるように成長しており、その過程で WTO(むかしの GATT)加盟は日本の46年後、新幹線も46年後、五輪は44年後、万博は40年後となり、中国はほぼ一定の時間差で日本がクリアした重要イベントを追いかけているようだ。

東京五輪は、日本が第二次世界大戦後の荒廃から約20年をかけて復活し、再び主要先進国として国際社会に復帰する記念イベントであった。時代の転換期にも当たったようで、開催期間の64年の10月10日から24日までの僅か2週間の内に、ソ連のフルシチョフ首相解任(14日)、中国初の原爆実験(16日)という衝撃的な国際事件も発生した。

北京五輪は中国にとっても国際社会への輝かしい復帰を PR する記念すべきイベントである。個々の競技の勝ち負けよりも、世界中から観戦に訪れる観光客にどれだけ良い印象を与えるかが重要である。中国の大気汚染、環境破壊、公衆マナー、社会不安等に世界中の注目や懸念が集まっている中でオリンピックは開会され、サッカー等個別競技の勝ち負けよりは、観客のマナーの方が遥かに世界の注目を集めているのである。その意味で、実は 13 億人全員が中国ナショナルチームのメンバーなのである(了)

平成 20 年 7 月 1 日

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2075% (税込み) (約定代金が 260,869 円以下の場合、3,150 円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.20% (税込み) (約定代金が 2,625 円に満たない場合は、2,625 円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。